

## 第4回弘前市総合計画審議会（書面開催） 委員意見まとめ

委員の皆様からご提出いただいたご意見を議題ごとに記載し、ご意見に対する事務局対応案を森会長と調整したうえで、記載しております。

### 1 議題への委員意見と事務局対応案

#### (1) 弘前市総合計画の二次評価案について

##### ①リーディングプロジェクト(審議)

**審議結果【了承する 19名 了承しない 0名】(審議会委員数 20名)**

**リーディングプロジェクトの二次評価案については、了承いただいた内容のとおりといたします。**

##### ②施策(審議)

**審議結果【了承する 19名 了承しない 0名】(審議会委員数 20名)**

委員意見	事務局対応案
・直接関係ありませんが、農業分野で、地球温暖化のため果樹の作付北限が上昇(北上)しているとの報道があります。りんご王国としての対応はどうなっているのか興味あるところです。(珍田委員)	・全県もしくは国レベルでの広範囲な対応が必要となってくるものと考えます。

**施策の二次評価案については、了承いただいた内容のとおりといたします。**

#### (2) 弘前市総合計画改訂方針案について(審議)

**審議結果【了承する 19名 了承しない 0名】(審議会委員数 20名)**

委員意見	事務局対応案
・(2)市民協働の取組の推進について、地域全体の中に、「学生」という文言も明記すべきだと考えます。「学生の特性を生かした施策を推進する。」というような内容が盛り込まれるべきではないでしょうか。(鴻野委員)	・委員意見を踏まえ、「弘前市協働によるまちづくり基本条例」に基づき、記載内容に「学生、子ども」を追記したほか、「民間事業者」を「事業者」と修正しました。(別紙2・3参照)

委員意見	事務局対応案
<p>・(6)「新たな日常」を見据えた取組の推進は、全体に係るものだと思われるので、(1)あるいは前文的なものとして、そのほかの改訂のポイントにおいてもこれを前提に改訂を進めることとしてはどうでしょうか。(森委員)</p>	<p>・「新たな日常」を見据えた取組の推進については、将来都市像実現に向け長期的に取組を進める総合計画においては、臨時的な取組となるため、改訂ポイント(6)に位置付けておりますが、委員ご指摘の通り、あらゆる施策において「新たな日常」の実現に向けた取組の検討を行うこととし、必要に応じて計画事業の新規追加を行います。</p>
<p>・周辺市町村との広域連携は、今後積極的に進めるべきだと思います。また、指標の見直しも適正な検討が不可欠だと思います。(田澤委員)</p>	<p>・改訂ポイント(3)のとおり、広域的な行政課題の解決に向けたさらなる取組について検討していくとともに、改訂ポイント(7)のとおり、適切な評価のための指標の見直しを行っていきます。</p>

**弘前市総合計画改訂案については、了承いただきましたが、委員意見も踏まえ、別紙2・3のとおり、一部修正いたしました。**

## 2 その他

市では、令和2年9月4日(金)より、今回ご審議いただいた「令和3年度弘前市総合計画改訂方針」や今年度実施した総合計画の内部評価、総合計画審議会による外部評価(二次評価)を参考とした新たな取組や見直しについての検討が始まっています。令和3年1月22日(金)に予定されている第6回弘前市総合計画審議会において、弘前市総合計画基本計画改訂案をご審議いただくこととしております。

# 令和3年度弘前市総合計画改訂方針

## 1 改訂の目的

弘前市総合計画（以下「総合計画」という。）は、まちづくりの方向性を示した地域づくりの最上位計画として平成31年3月に策定したものである。その推進にあたっては、「弘前市協働によるまちづくり基本条例」に基づき、市民との協働により毎年度、計画の達成度、執行状況の妥当性を評価し、改善策の検討・見直しを行うこととしており、その評価にあたっては、PDCAサイクルにより実践していくこととしている。

今年度実施したPDCAサイクルに基づく評価結果を踏まえて、総合計画基本計画及び実施計画の改訂を行うこととする。

## 2 改訂のポイント

### (1)リーディングプロジェクトのさらなる推進

将来都市像の実現に向け、重点的に取り組む「くらし」、「いのち」、「ひと」、「地域コミュニティ」、「2025年対策」の5つのリーディングプロジェクトのさらなる推進を図るため、今年度実施した総合計画の内部評価及び総合計画審議会による外部評価等を踏まえ、新たな取組や見直しについて検討すること。

特に「いのち」に関する分野においては、新中核病院の整備が進み、地域の医療提供体制の充実が見込めることから、次のステップとして市民の健康寿命延伸に結び付く取組について検討すること。

### (2)市民協働による取組の推進

行政のみならず市民や学生、子ども、コミュニティ、事業者等も含めた地域全体が一丸となり、各主体が協力・連携し合いながら地域づくりに取り組む「弘前市協働によるまちづくり基本条例」の考え方にに基づき、市民協働のさらなる浸透を図るため、市民協働の理念を伝え、市民参加の場を広げる取組について検討すること。

また、市民が協働して、市民一人ひとりが住み慣れた地域でお互いを尊重し、支え合い、いきいきと暮らせる地域共生社会の実現に向けた取組についても検討すること。

### (3)魅力ある地域づくりを支える周辺市町村との広域連携の推進

人口減少社会において、少子高齢化や経済活動の縮小等により行政コストが増大する中で、行政サービスを安定的、持続的、効率的かつ効果的に提供するためには、各自治体の資源を有効に活用しながら広域連携を推進していく必要がある。

については、将来にわたって魅力ある地域づくりを支える行政サービス体制の構築を実現するため、広域的な行政課題の解決に向けたさらなる取組について検討すること。

#### **(4)先端技術導入による持続可能な行財政運営への転換**

国では Society5.0 の実現を目指しており、人口減少に直面する本市においても社会課題の解決に向けたこれらの技術の活用が期待されている。人口減少により様々な分野で人手不足が懸念されていることから、市が地域内を先導するためにも、AI、IoT、RPA 等先端技術導入につながる取組について検討すること。

#### **(5)地域活性化に向けた地方創生の取組の充実**

人口減少対策及び地域活力の振興などに積極的に取り組み、地方創生を実現することを目的として令和2年3月に策定した「第2期弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実行性を高めるために、喫緊の課題である若者の地元就職や県外に流出した若者のUターン就職、中心市街地の賑わい創出などに対応した、地域活性化につながる取組について検討すること。

#### **(6)「新たな日常」を見据えた取組の推進**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本市のみならず、日本全体において、社会環境が大きく変化している。令和2年度においては、当初予定していた計画事業の中で休止または実施困難としたものがある一方で、市民生活や地域経済の回復に向けて、感染拡大防止対策や事業者支援・生活支援対策に集中的に取り組んできたところである。

については、「新たな日常」の実現に向けた、社会的な環境の整備、新たなくらしのスタイルの確立、新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進のための対応に関する取組を検討し、必要に応じて施策への計画事業の追加を行うこと。

#### **(7)適切な評価のための指標の見直し**

各施策等の成果をより適切に把握することができる指標の設定が可能となった場合は、指標の見直しや追加を行うこと。

なお、指標によっては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、今年度以降の実値が目標値を大きく下回るものがあると予想されるが、目標値の下方修正については、今年度の実績値を取得したうえで来年度に行うこととする。

## 「令和3年度弘前市総合計画改訂方針」修正内容

## 1. 第4回弘前市総合計画審議会での審議内容を踏まえた修正内容

No.	修正箇所	修正前	審議会委員意見	事務局対応案	修正後の内容
1	2 改訂のポイント 「(2)市民協働の深化に向けた取組の展開」の1段落目	行政のみならず市民やコミュニティ、 <u>民間事業者等</u> も含めた地域全体が一丸となり、各主体が協力・連携し合いながら地域づくりに取り組む「弘前市協働によるまちづくり基本条例」の考え方にに基づき、市民協働のさらなる浸透を図るため、市民協働の理念を伝え、市民参加の場を広げる取組について検討すること。	(2)市民協働の深化に向けた取組の展開について、地域全体の中に、「学生」という文言も明記すべきだと考えます。「学生の特性を生かした施策を推進する。」というような内容が盛り込まれるべきではないでしょうか。(鴻野委員)	委員意見を踏まえ、「弘前市協働によるまちづくり基本条例」に基づき、記載内容に「学生、子ども」を追記したほか、「民間事業者」を「事業者」と修正しました。	行政のみならず市民や学生、子ども、コミュニティ、 <u>事業者等</u> も含めた地域全体が一丸となり、各主体が協力・連携し合いながら地域づくりに取り組む「弘前市協働によるまちづくり基本条例」の考え方にに基づき、市民協働のさらなる浸透を図るため、市民協働の理念を伝え、市民参加の場を広げる取組について検討すること。

## 2. 市内部の市政推進会議等での審議内容を踏まえた修正内容

No.	修正箇所	修正前	意見	事務局対応案	修正後の内容
1	2 改訂のポイント 「(1)リーディングプロジェクトのさらなる推進」の2段落目	特に「いのち」に関する分野においては、新中核病院の整備が進み、地域の医療提供体制の充実が見込めることから、次のステップとして市民の健康寿命延伸に結び付く <u>新たな取組</u> について検討すること。	「新たな取組について検討」とした場合、新規事業のみを検討することになるため、事業の拡充等を含めた記載内容とすること。	「新たな」を削除し、新規事業や拡充を含めた取組の検討を行うよう表現を修正しました。	特に「いのち」に関する分野においては、新中核病院の整備が進み、地域の医療提供体制の充実が見込めることから、次のステップとして市民の健康寿命延伸に結び付く <u>取組</u> について検討すること。

No.	修正箇所	修正前	意見	事務局対応案	修正後の内容
2	2 改訂のポイント 「(2)市民協働の深化に向けた取組の展開」のタイトル	(2)市民協働の <u>深化に向けた取組の展開</u>	「深化」は「進化」と混同しやすいため、わかりやすい表現とすること。	「進化」を削除し、わかりやすい表現に修正しました。	(2)市民協働による取組の <u>推進</u>
3	2 改訂のポイント 「(2)市民協働の深化に向けた取組の展開」の2段落目	また、市民が協働して市民一人一人を社会全体で <u>支え合う地域共生社会の実現に向けた新たな取組についても検討</u> すること。	・「地域共生社会」の説明について、もっとわかりやすくすること。 ・「新たな取組について検討」とした場合、新規事業のみを検討することになるため、事業の拡充等を含めた記載内容とすること。	・より具体的にわかりやすい表現に修正しました。 ・「新たな」を削除し、新規事業や拡充を含めた取組の検討を行うよう表現を修正しました。	また、市民が協働して市民一人ひとりが <u>住み慣れた地域で互いを尊重し、支え合</u> い、いきいきと暮らせる地域共生社会の実現に向けた <u>取組についても検討</u> すること。
4	2 改訂のポイント 「(3)魅力ある地域づくりを支える周辺市町村との広域連携の推進」の2段落目	については、魅力ある地域づくりを支える <u>持続可能な行政サービス体制の構築</u> を実現するため、広域的な行政課題の解決に向けた <u>新たな取組について検討</u> すること。	・「持続可能な」をわかりやすい表現とすること。 ・現在、津軽圏域DMO や成年後見人制度、弘南鉄道の維持・活性化など多くの広域連携による取組が始まっている中で、さらなる取組が検討されるよう修正すること。	・「将来にわたって」と表現を修正しました。 ・「さらなる取組について検討」と修正しました。	については、 <u>将来にわたって魅力ある地域づくりを支える行政サービス体制の構築</u> を実現するため、広域的な行政課題の解決に向けた <u>さらなる取組について検討</u> すること。

No.	修正箇所	修正前	意見	事務局対応案	修正後の内容
5	2 改訂のポイント 「(4)先端技術導入による持続可能な行財政運営への展開」の1段落目	国では Society5.0 の実現を目指しており、人口減少に直面する本市においても社会課題の解決に向けたこれらの技術の活用が期待されている。人口減少により様々な分野で人手不足が懸念されていることから、市が地域内を先導するためにも、AI、IoT、RPA 等先端技術導入につながる <u>新たな取組について検討</u> すること。	・「新たな取組について検討」とした場合、新規事業のみを検討することになるため、事業の拡充等を含めた記載内容とすること。	・「新たな」を削除し、新規事業や拡充を含めた取組の検討を行うよう表現を修正しました。	国では Society5.0 の実現を目指しており、人口減少に直面する本市においても社会課題の解決に向けたこれらの技術の活用が期待されている。人口減少により様々な分野で人手不足が懸念されていることから、市が地域内を先導するためにも、AI、IoT、RPA 等先端技術導入につながる <u>取組について検討</u> すること。
6	2 改訂のポイント 「(5)地域活性化に向けた地方創生の取組の充実」の1段落目	人口減少対策及び地域活力の振興などに積極的に取り組み、地方創生を実現することを目的として令和2年3月に策定した「第2期弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実行性を高めるために、喫緊の課題である <u>若者の地元就職</u> や中心市街地の賑わい創出などに対応した、 <u>地域の持続的発展</u> につながる <u>新たな取組について検討</u> すること。	・若者の地元就職だけでなく、いったん県外に流出した若者が10年後に戻ってこられるような取組についても検討する記載とすること。 ・「地域の持続的発展」をわかりやすい表現とすること。 ・「新たな取組について検討」とした場合、新規事業のみを検討することになるため、事業の拡充等を含めた記載内容とすること。	・「県外に流出した若者の U ターン就職」を追記しました。  ・「地域活性化」と修正し、タイトルと揃えました。 ・「新たな」を削除し、新規事業や拡充を含めた取組の検討を行うよう表現を修正しました。	人口減少対策及び地域活力の振興などに積極的に取り組み、地方創生を実現することを目的として令和2年3月に策定した「第2期弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実行性を高めるために、喫緊の課題である <u>若者の地元就職</u> や <u>県外に流出した若者の U ターン就職</u> 、中心市街地の賑わい創出などに対応した、 <u>地域活性化</u> につながる <u>取組について検討</u> すること。

以上